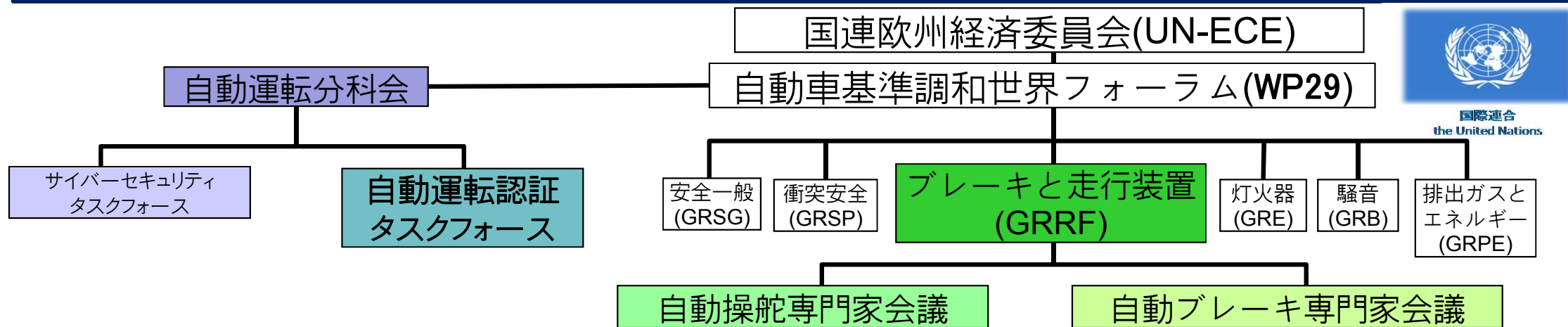


国連における自動運転の車両に関する技術基準の検討体制

- 国連WP29において、自動運転に係る基準等について議論する「自動運転分科会」、「自動操舵専門家会議」、「自動ブレーキ専門家会議」が活動している。
- 2018年3月、自動で車線変更を行う自動ハンドル操作の基準が成立した。
- 今後、レベル4も想定した非常に高度な自動運転車の認証方法に関する検討を行う。



会議体	役職	最近の主な成果
自動運転分科会	議長：日、英	自動運転車両の安全基準の検討
自動運転認証タスクフォース	二	2018年3月末に第1回会合を開催し、物理的な試験、自動車メーカーによるシミュレーション等の確認及び実走行試験について詳細な検討が開始される予定
サイバーセキュリティタスクフォース	議長：日、英	<ul style="list-style-type: none"> サイバーセキュリティガイドラインの成立（2017年3月） ガイドラインを補足する具体的要件の検討（2018年6月成立予定）
ブレーキと走行装置 (GRRF) 分科会	議長：英 副議長：日	衝突被害軽減ブレーキをはじめ、自動運転技術に関する各種基準案を関係主要国の合意の下、取りまとめ
自動操舵専門家会議	議長：日、独	<ul style="list-style-type: none"> 自動で車線維持を行う自動ハンドル操作の基準の成立（2017年3月） 自動で車線変更を行う自動ハンドル操作の基準の成立（2018年3月）
自動ブレーキ専門家会議	議長：日、EC	乗用車の自動ブレーキの基準を策定中